

がん性疼痛看護認定看護師

1. がんの痛みのある患者さんの全人的苦痛を和らげ、療養生活に関する困りごとを解決できるよう共に考え、その人らしい生活が送れるように支援します。
2. WHOがん疼痛治療法に基づく痛みの治療と看護を実践します。
3. 医療用麻薬についての正しい知識と使い方を説明します。
4. 患者さんやご家族が自分でできる痛みの緩和方法をお教えします。
5. 看護師や看護学生へのがんの痛みの治療と看護に関する教育を行います。
6. がんの痛みの治療や看護に関する相談を受け、より良い治療と看護が出来るようサポートします。

【現在の活動】

■実践

がん看護コアナース(リンクナース)の活動支援

看護外来:がん治療の選択や決定を支援するための面接、不安を軽減するための面接

■指導

東海大学看護師キャリア支援センターオープンセミナーがん看護講師

神奈川県単位型緩和ケア研修会ファシリテーター

■相談

がん相談支援センター相談員

医療用麻薬の適正使用について

医療用麻薬の副作用対策について

メンバー紹介

塚田 美智子

外来・病棟でのがん看護の経験～緩和ケアチーム専従看護師の経験を活かし、現在はがん相談支援センターでがん相談員として、がん相談に対応しています。

がん患者さんにとって、毎日の生活や通院・治療にも大きく影響するがんに伴う身体的・精神的・社会的・こころの痛みを緩和することはとても大切です。

こうした痛みや不安を少しでも和らげられるよう、がん患者さんやご家族からお話を伺い「がんと共に生きるためにどうしたら良いか？」患者さんご家族ご自身で考えることが出来るよう、サポートさせて頂きたいと思っています。

堂園 幸子

緩和ケアチーム専従看護師、がん相談支援センター相談員の経験を経て、現在は外来看護師の立場で、治療・療養上の症状緩和、不安・困りごとのご相談に対応しています。がんと共に生きる時代と言われますが、そこにはたくさんの不安や悩みがあります。患者さんやご家族の不安や悩みを聴き、時には一緒に悩んだり、力づけたり、また様々な局面の意思決定を支えたり、がんを抱えて生きていくことの少しの支えになればと思います。